

埼玉・川越市、ものづくりブランド認定

埼玉県川越市は、2019年度の川越ものづくりブランド「KOEDO E-PRO」の認定表彰式を行った。昨年は該当なしだった大賞に、新報国製鉄の高剛性ゼロ膨張インバー「IC-ZX」を選出。川合善明市長が同社の成瀬正社長に認定証を授与した。奨励賞にはケンテックシステムズの「世界最小・最軽量・最大運用荷重を誇るNSCパワーアッセンダー」が選ばれた。

市内立地企業が対象の同ブランド認定は今回で8年目。2年ぶりに大賞が出たが、認証は2点にとどまった。ブランド取得の総数は同一企業による重複も含め



川合市長（左から3人目）らに認定製品を説明する成瀬社長（左から2人目）

大賞に新報国製鉄

42件。認定式後、川合市長と川越商工会議所の立原雅夫会頭らが認定企業の展示ブースを回り、説明を受けるなど両社長と歓談した。

成瀬社長は「すべて当社の若手社員がここまでやってくれた。今後は地域社会への貢献活動も推進していきたい」と述べた。（川越）